

骨髄移植普及促進事業（新規）

1. 背景

白血病や再生不良性貧血等の病気により、骨髄移植を必要とされる患者は、全国で毎年少なくとも2,000人に及ぶ。骨髄移植は、患者と骨髄提供者（ドナー）のHLA型（ヒト白血球抗原型）が適合しなければならない。兄弟姉妹間で4分の1、親子間ではほとんどなく、非血縁者間の適合率は数百人～数万人に1人しか適合しない。骨髄バンク事業は、非血縁者から提供される骨髄液を患者にあっせんするシステムであり、広く一般からドナーを募る必要がある。さらに、現在9割以上の患者に適合するドナー候補者が見つかるが、実際の移植率は約6割にとどまっており、ドナー登録者数の増加とともに、移植率の向上が求められている。

2. 事業目的

骨髄移植の普及にかかる堺市の役割としては、一人でも多くの方にドナー登録を行っていただくことが重要と考えており、広報紙やホームページ等による情報提供、イベント等での献血と併行したドナー登録会の開催等の取組みを進めるとともに、市産業界に対しドナー休暇制度の導入等の協力を依頼するなど、様々な普及・啓発事業を実施している。

今後さらに、広く市民にドナー登録を奨励し、骨髄移植の普及を推進するため、骨髄移植普及促進事業（新規）を提案する。

3. 事業内容

① 骨髄移植ドナー支援事業

骨髄移植を促進する施策として、骨髄提供者（ドナー）に対し奨励金を交付する。

- ▶ 対象 次の要件のいずれにも該当する者
 - ① 平成29年4月1日以降に骨髄バンクを介して骨髄等の提供を行った者
 - ② 骨髄等の提供を行った日に市内に住所を有している者
 - ③ 他の自治体を実施する同種同類の助成金・奨励金等を受けていない者
- ▶ 奨励金額 骨髄等の提供に係る通院、入院または面談の日数1日につき2万円
※標準的な通院・入院日数を7日間とし1回の提供につき14万円限度

② 骨髄移植「語りべ」講演会

骨髄移植によって元気になった元患者や提供経験のあるドナー等の「語りべ」を講師に迎え、主に若年層を対象とした講演会を開催する。

- ▶ 講演内容 骨髄移植や提供に関わる体験談、ドナー登録や骨髄提供方法
- ▶ 対象 これからドナーの対象となる世代（市内高校生及び大学生等）
- ▶ 受講料 無料

③ 献血併行型ドナー登録の啓発促進

献血会場での献血受付時や市内企業への啓発の際にドナー登録を促す啓発チラシを配布する。

- ▶ 会場 堺東献血ルーム及び献血バスによる市内献血会場
- ▶ 対象 献血申込者約20,000人（献血ルーム等12,000人、献血バス8,000人）

4. 事業費

平成29年度当初予算要求額：2,200千円

- 《内訳》
- ① 骨髄移植ドナー支援事業（1,400千円）
 - ② 骨髄移植「語りべ」講演会（400千円）
 - ③ 献血併行型ドナー登録の啓発促進（400千円）